

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

## タイトル ③ 自分らしい暮らしができる地域づくり

## 現状と課題

介護が必要な状態になっても、自分らしい暮らしができるよう、高齢者の自立支援と重度化防止や介護をする家族の負担の軽減を図りながら、高齢者一人ひとりに合ったサービスが必要となる。また、介護を必要としない時期から、運動器機能や認知機能等の低下予防や、軽易な家事援助等、本市の実情に応じた介護予防・日常生活支援総合事業の取組が求められる。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、認知症に関する相談窓口を知らないと答えた方が6割近くとなっており、在宅介護実態調査では、今後の在宅生活継続に向けて主な介護者が不安に感じる介護として、「認知症状への対応」が33.1%と上位となっていることから、認知機能が低下しても安心して暮らせるよう、認知症に関する正しい知識の普及啓発、早期発見・早期対応、認知症の人や家族を見守り支援する体制づくりが必要である。

その他、高齢化の進展に伴って増加する高齢者のさまざまなニーズに対応するため、地域包括支援センターは地域福祉の拠点として、関係機関と連携し高齢者を含めた地域全体の包括的・継続的な支援体制の構築を推進し、地域包括ケアシステムの強化を図る。

## 第8期における具体的な取組

- ・地域包括支援センターの運営・機能強化
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- ・認知症対策の推進

## 目標（事業内容、指標等）

- ・地域包括支援センターの運営・機能強化  
介護支援専門員等が地域で質の高いケアマネジメントが図れるように、定期的に研修会を開催し、関係機関の連携・協働の体制づくりをする。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の推進  
高齢者や地域のニーズを把握し、地域住民等多様な主体による取組を充実し、介護予防を推進する。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問サービス事業A 延利用者数（人）	950	950	950
訪問型介護予防事業C 利用者数（人）	2	2	2

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通所サービス事業A 延利用者数（人）	2,100	2,200	2,300
通所型介護予防事業C 延利用者数（人）	650	660	670

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活支援サービス 延利用者数（人）	1,000	1,050	1,100

・認知症対策の推進

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症に関する研修会 参加者数（人）	100	120	140

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症初期集中支援チーム 相談件数（件）	30	35	40
認知症初期集中支援チーム 訪問件数（回）	120	140	160

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症サポーター数（人）	3,500	3,700	3,900
チームオレンジ構成員数（人）	10	15	20

目標の評価方法

● 時点

中間見直しあり

実績評価のみ

● 評価の方法

- ・介護支援専門員等研修会の実施状況
- ・訪問型サービス利用状況、通所型サービス利用状況、生活支援サービス利用状況
- ・認知症に関する研修会実施状況、認知症初期集中支援チーム活動状況
- ・認知症サポーター数、チームオレンジ構成員数、チームオレンジ活動状況